



## 専門分野を活かし、町の活性化に向けて活動 2名の地域おこし協力隊が着任

8月3日、地域おこし協力隊委嘱状交付式が町役場で行われ、新しく隊員として着任した片岡美菜さん（写真左）と方嘉靖さん（写真右）に、薄町長より委嘱状が交付されました。薄町長は「西会津町の地域を『変える力』として、地域の活性化に力を貸していただきたい」とあいさつしました。町で活動する地域おこし協力隊は今回着任した2名を含め、全員で16名となりました。



### ◆片岡 美菜（かたおか みな） 隊員

神奈川県出身。大学卒業後、グラフィックデザイナーとして活動。町にある資源を活かし、暮らしの営みをモチーフとしたものづくりを通して地域の活性化を図っていきます。

### ◆方 嘉靖（ファンジャージン） 隊員

中国・上海出身。日本の大学に在学しながら、ツアー商品の造成などに携わる。ゆっくり町に滞在しながら暮らしと文化を堪能できる観光づくりをテーマに活動します。

## 町長コラム その19

去る8月4日から6日まで、町内にある企業15社を訪問した。その目的は、①新型コロナウイルス感染症による影響について、②今後の展望について、③町（行政）に対する要望について、④町からのお願いについての4点。企業のトップから生の声を聞き、今後の企業支援策を探りたいと思ったからである。

新型コロナウイルス感染症が発生してから6か月が経過し、全国に感染拡大している状況の中で、業種によって相違はあるが、大変な状況を乗り越えるための努力と対策を講じていることを知り、短い時間の中で貴重な意見をいただき心から感謝である。

意見交換では、一日も早い新型コロナウイルスの終息に向けた対策と人材の確保が大きな課題である

ことと、町への要望を聞くことができた。

これまで町は、農林業や商業関係について各種の支援制度を充実させ、振興を図ってきたが、工業については十分でないと感じていたので、来年度に向けて支援制度を確立していきたい。町内企業の従業員数は約700人で、その家族を含めると、町の人口（約6,000人）の3分の1を占めることになり、町の経済活動に大きく貢献している。

町の経済活性化を図り、元気な魅力ある町にするために、しっかりと企業支援に取り組んでいく。

大変お忙しい中、対応していただいた各社の社長の皆さんに感謝を申し上げます。ありがとうございました。

西会津町長 薄 辰喜

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

### 有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
- ◆掲載料 1枠当たり5,000円/月

<問い合わせ先>  
企画情報課 情報政策係 ☎45-4536

## 町における新型コロナウイルス感染拡大防止に貢献 町内企業へ感謝状を贈呈

新型コロナウイルス感染拡大防止に貢献した町内企業3社に、町から感謝状が贈られました。7月14日に各企業を訪れた薄町長は、「会社としても大変な時期に、町への多大なるご支援ありがとうございました」とあいさつし感謝状を贈りました。

有限会社伊藤電機からは除菌消臭剤、株式会社会津技研からは次亜塩素酸水、株式会社海老名建設からは不織布マスクとハンドソープ用容器がそれぞれ寄付され、町の新型コロナウイルス感染拡大防止対策に役立てられました。



## 長年にわたり教育行政の発展に尽力 松崎好延さんに高齢者叙勲

松崎好延さんに高齢者叙勲・瑞宝双光章が発令され、8月5日に町役場で伝達式を行いました。式では、江添信城教育長が息子の松崎好也さんに勲記を伝達しました。

松崎さんは、昭和29年から約40年にわたり教員として尽力。退職後は町教育委員会委員長を務め、西会津中学校の統合など教育行政の発展に尽くし功績を残しました。



## 戦没者を悼み、恒久平和を祈念 令和2年度戦没者追悼式

7月29日、町公民館で西会津町戦没者追悼式が行われました。式では、参列者全員で黙とうを捧げた後、薄町長が式辞を述べ、清野佐一町議会議長や西会津町遺族会を代表して齋藤周作さんが追悼の辞を述べました。最後は参列者全員で献花を行い、戦没者の安らかな眠りを祈るとともに、恒久平和への誓いを新たにしました。



## 7月28日開会、議案2件を審議可決 町議会臨時会報告

◆令和2年度一般会計補正予算（第5次）＝新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の配分（第2次分）の決定に伴い、各事業を行うために要する経費1億8090万8千円を増額

◆令和2年度国民健康保険特別会計補正予算（第3次）＝新型コロナウイルス感染症対策に要する経費549万1千円を増額